

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	日本における集中治療室入院患者に対する早期離床の実態調査
研究責任者	杏林大学保健学部 松嶋真哉 聖隷浜松病院リハビリテーション部 加藤大喜
研究実施体制	【主たる研究機関】 代表者名: 杏林大学保健学部 松嶋真哉 【共同研究機関】 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション医学 山田深 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部 野々山忠芳 関西電力病院 リハビリテーション科 松木良介 札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部 宮城島沙織 長崎大学病院 リハビリテーション部 花田匡利 川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 佐藤 宏樹 長崎大学 生命医科学域(保健学系) 柳田頼英
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日
対象者	特定の 1 日を指定し、指定した日に各施設の ICU に入院していた成人患者さん
研究の意義・目的	本邦での実際の離床実施率と、離床を阻害する因子を明らかにすることが本研究の目的です。 本調査は国外での調査と比較可能であり、本邦の特徴を明らかにすることができる重要な研究に位置づけられています。
研究の方法	本邦において 1 日の点有病率調査(point prevalence survey)を実施します。ある 1 日を指定し、後ろ向き調査にて各施設の ICU に院している患者さんに対する早期離床やリハビリテーションの実態を調査します。以下に簡潔に調査手順を示します。 1) 全国で集中治療室を有している研究協力機関を確保する。 2) 以下、研究協力機関から下に列挙する 3 点の情報を得る。 ・後方視的に指定した「ある 1 日」の集中治療室に入室している全患者の基礎的状态 ・指定した「ある 1 日」の集中治療室に入室している全患者に対して、離床の実施状況 ・リハビリテーション時に離床の阻害因子に関する情報
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

係る手続き	
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 リハビリテーション部 加藤大喜 TEL:053-474-2222(代表) PHS 6842 9:00~17:00 平日